

祝 奥多摩町立小学校 創立150周年記念式典開催

〈10月14日、各学校体育館にて式典を挙行了ました。〉

奥多摩町立古里小学校

創立150周年を祝い、子供たちは詩「未来」の音読と合唱奏「カントリーロード」を発表しました。「カントリーロード」では、4年生のリコーダー演奏や、6年生の“しの笛”の演奏、そして教員バンドの伴奏も入り、全校で合唱奏をつくりあげました。



奥多摩町立氷川小学校

式典には在校生1年生から6年生、全員が参列しました。5年生と6年生が、本校の伝統となった“氷川獅子”を披露し、その後全校児童で150年間の歴史への感謝と、未来に向けた思いを発表しました。最後は全員で心をつなげて“ふるさと（作詞／高野辰之 作曲／岡野貞一）”を歌い、本校の150回目の誕生日をお祝いしました。



第234号
発行
奥多摩町教育委員会



町公式ホームページ

令和5年11月1日現在
児童数 141名
生徒数 65名
教職員数 44名



～町立小学校創立150周年を迎えて～奥多摩町教育委員会 教育長 野崎 喜久美

明治初期に開校となり地域の教育を担って歩み続け、そこには日本の教育の歴史があり、その中で培われてきた奥多摩の小学校独自の伝統と校風があります。伝統は古きを守るものではなく、日々新たなものを創造するものと言われる。ここに、伝統と創造が受け継がれ両小学校は150年を迎えました。小学校時代の勉強や生活は鮮明な記憶となって生涯、決して忘れることはありません。

時代は令和になり様々な学校の形がある中、恵まれた地域に学んでいる日本の将来を担う子供たち。持続可能な社会を実現していくことを目指していく教育こそが小規模校の「強味」を生かし、子供たちのより良い成長を支えていける特色あふれる教育であると考えます。ここまで地域の皆様に支えられ、共に歩み、大きく羽ばたくであろう子供たちの夢を支えていただいたことに感謝いたします。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

令和5年度全国学力・学習状況調査結果から見る、児童・生徒の学習状況について

令和5年4月に、小学6年生と中学3年生を対象に全国学力・学習状況調査を実施しました。小学校では国語と算数、中学校では国語、数学、英語の調査が実施されました。

ここでは、奥多摩町の子供たちの正答率が低かった調査問題の一部を取り上げます。このような問題を子供たちは苦手としていることを踏まえて、学校での指導やご家庭での教育にお役立ていただきたいと思います。

小学校・国語

次の下線部を漢字でていねいに書きましょう。

雑草取りを続けたのですが、いがいに雑草が生えてきて、とてもこまりました。

正答：意外

◇奥多摩町の児童の約6割が誤答となり、このうち約1割が無回答でした。音読みや訓読み、送り仮名だけでなく、似た意味や反対の意味の漢字、同音異義語などを意識して練習し、漢字の習得とともに語彙の獲得をしていくことが大切です。

小学校・算数

いす4きゃくの重さをはかると、7kgでした。このいす48きゃくの重さは、何kgですか。求め方を式や言葉を使って書きましょう。また、答えも書きましょう。

正答：84kg

【求め方A】いすの数は、 $48 \div 4 = 12$ で、12倍になります。いすの数が12倍になると重さも12倍になるので、48きゃくのときの重さは、 $7 \times 12 = 84$ で、84kgです。

【求め方B】1きゃくあたりの重さは、 $7 \div 4 = 1.75$ で、1.75kgになります。48きゃくのときの重さは、 $1.75 \times 48 = 84$ で、84kgです。

◇奥多摩町の児童の約6割が誤答となりました。【求め方A】の考え方で、問題に取り組んでいる児童が多いことが分かりました。しかし、計算の過程で間違えてしまう傾向が見られました。考えたことを図や式で表し、筋道を明らかにしながら答えを導く力を身に付けていくことが大切です。

中学校・国語

【星新一「竹取物語」による】

問題文は、古典の作品である「竹取物語」に作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えますか。(問題文の一部省略)

正答例：「よろづのこと」を「笠、竿、箴、籠、筆、箱、筒、箸。」というように具体的に書いて、翁が竹でどのようなものを作っていたのかが分かるようにしている。

◇奥多摩町の生徒の約7割が誤答、そのうち約2割が無回答でした。国語に限らず、数学と英語においても、自分の考えを記述する問題に課題があることが分かりました。知識及び技能の習得とともに、根拠を明確にしながら、考えを表現する力を身に付けていくことが大切です。

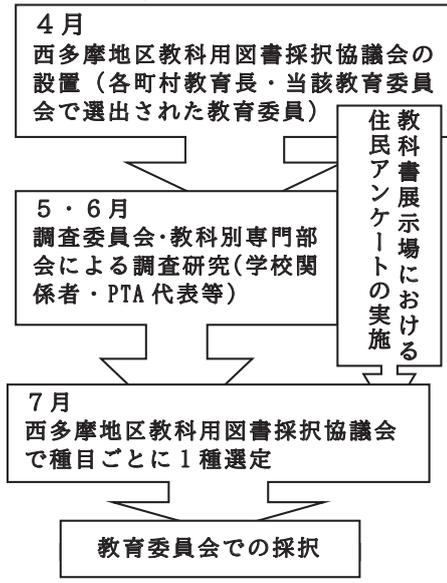
令和6年度使用小学校教科用図書

種目	発行者	教科書名
国語	光村図書	国語
書写	光村図書	書写
社会	東京書籍	新編 新しい社会
社会（地図）	帝国書院	楽しく学ぶ 小学生の地図帳
算数	東京書籍	新しい算数
理科	大日本図書	新版 たのしい理科
生活	東京書籍	新編 新しい生活
音楽	教育芸術社	小学生の音楽
図画工作	開隆堂	図画工作
家庭	東京書籍	新編 新しい家庭
体育（保健）	学研	新・みんなの保健
外国語	東京書籍	NEW HORIZON Elementary
特別の教科 道徳	光村図書	道徳

7月24日の教育委員会定例会において、令和6年度使用小学校教科用図書の採択が行われました。

奥多摩町は、瑞穂町、日の出町、檜原村と共同採択となります。

採択までの流れと採択結果は図・表のとおりです。



令和6年度から使用する小学校教科用図書が決まりました

古里小学校より

9月24日気持ちのよい秋晴れの下、令和5年度運動会を開催することができました。子供たちは「みんなの全力をぶつけてがんばろう」という運動会のスローガンを達成すべく、一人一人力を出し切りました。当日は多くのご来賓、保護者の皆様にご参観いただき、熱い声援と温かい拍手をいただきました。ありがとうございました。



白熱のリレー



全校競技 大玉送り



児童・保護者・地域の皆様と共に奥多摩音頭

氷川小学校より

氷川小学校の2学期は、9月30日に「創立150周年記念運動会」、10月28日「奥多摩ふれあいまつり」、11月2日「西多摩郡連合音楽会」、11月23日「創立150周年記念学習発表会」と、行事が充実していました。本校では、これらの行事の企画と運営を、高学年の中から募った実行委員会を中心にして、児童自身に執り行わせるようにしています。教員もそばにいて見守り、指導を行います。極力手を出さず、児童の自主性に任せようとしています。学校全体を動かすというレベルの課題に取り組み中で、主体性や課題解決能力、協調性を高め、やり切る経験から自己有用感をもたせることにつなげています。



奥多摩中学校より

修学旅行

9月24日から二泊三日で行われた修学旅行は、「協働やSDGsを意識して、京都や奈良の文化を楽しもう!」というスローガンの下、3年生19名全員で実施することができました。

1学期から「持続可能な取組を探ろうin京都・奈良」という共通テーマで一人一人が見学地を設定し、現地で「本物」の取材を行いました。

初日は世界最古の木造建築である奈良の法隆寺を見学し、その後の奈良公園での散策では、行動班それぞれのコースでチェックポイントを目指しました。

2日目の京都市内班行動では、シルバーガイドさんの解説に耳を傾け、個人テーマの資料を十分に



収集することができました。3日目は半日のタクシー班行動でした。遠い見学地を巡る班もあり忙しい

時間設定でしたが、優しく親切な運転手さんと相談しながら集合時間に無事間に合うことができました。

宿舎では女将



さんにご協力いただいた夜のレクリエーションが思い出に残っています。食事も素晴らしく、特別にお米のおいしさが際立ち、おかわりをする生徒が続出しました。京町家造りのはんなりとした建物と、元気な女将さんのおもてなしに、生徒も教員も全員が感動を覚えました。女将さんをはじめ、今回の修学旅行でお世話になったバスの運転手さんやバスガイドさん、シルバーガイドさん、タクシーの運転手さん、そして一般の宿泊の方からも「良い学校さんですね」とお褒めの言葉をいただきました。いくつかのトラブルに遭遇しつつも、全員で解決していかうという「チーム・奥中」の精神を存分に発揮して乗り越えることができたことが、今回の修学旅行での大きな財産です。

中学生らしい瑞々しい感性で、

「本物」のすごさをたっぷりと受け取ることができた3日間。膨大な写真と取材資料、楽しい思い出を元に作成した報告書は、3月の校内展で展示します。

報告 志村芳明

子ども国際交流音楽祭 交流コンサート(10月10日)

木管五重奏のアンサンブルとユ



ネスコ無形文化遺産の「小河口の鹿島踊り」を鑑賞しました。「フィガロの結婚」や「ハンガリー舞曲第6番」など、様々な曲調の名曲をウィーン音楽家の演奏で楽しむことができました。

「小河口の鹿島踊り」では、踊りの所作や衣装、笛と太鼓のお囃子などの日本らしい伝統を感じることができました。

報告 鈴木明莉



芸術鑑賞教室(10月19日)

ラの演奏を鑑賞しました。ベートーヴェン『レオノーレNr.3序曲』から始まり、ドヴォルザーク『交響曲第9番「新世界より」』まで、クラシック音楽の素晴らしさ、フルオーケストラの迫力に魅了されました。

楽器紹介では、分かりやすい説明と共に有名な楽曲の一節を演奏してもらい、楽器ごとの音色の違いを堪能しました。



指揮者体験コーナーでは、3名の生徒が『カルメン前奏曲』の指揮を体験しました。同じ曲でも指揮者のリズムによって違いが生じることを体感することができました。

このような素晴らしい経験ができましたこと、関係の皆様にご心より感謝申し上げます。

報告 辻愛

学校給食費が改定されます

近年、食材高騰が続き、献立内容
を維持することが困難な状況
にあります。

現在の学校給食費は令和2年4
月に改定して以降、献立の工夫や
物資選定による食材費の抑制な
どの努力により、学校給食費を据
え置いたまま給食の提供を続け
てまいりました。

つきましては、健全な給食の運
営を図るため、令和6年4月よ
り、別表のとおり学校給食費を改
定いたします。

今後も児童生徒に栄養バランス
の取れた安全・安心な学校給食の
提供に努めてまいりますので、ご
理解とご協力をお願いいたします。

令和6年4月改定 給食費		
区分	月額	増額
小学校 (低学年)	4,300円	300円
小学校 (中学年)	4,700円	300円
小学校 (高学年)	5,000円	300円
中学校	5,900円	300円

食育授業より『とっておきのメニューを作ろう』 学校給食センター

7月6日、奥多摩町学校給食セ
ンターの栄養士が奥多摩中学校を
訪問し、食育授業を実施しました。

「とっておきのメニューを作ろ
う」をテーマに、生徒一人一人が
給食のオリジナル献立を立てると
いう内容で行いました。いざ献立
を立てるとなると、料理の組み合
わせや使う食材に悩んでいる様子
でした。最終的に、個性あふれる
素敵な献立が完成しました。その
中で、6名の献立が10月の給食で
実際に提供されました。

授業の様子と、生徒考案の給食
を写真で紹介いたします。
栄養士 谷口 菜々実



10/5
(木)

ごはん
豚の生姜焼き
切干大根の煮物
具沢山みそ汁
牛乳



10/11
(水)

胡麻塩ごはん
鮭のマヨネーズ焼き
ほうれん草ともやしのお浸し
奥多摩汁〜かぼちゃをのせて〜
牛乳



10/17
(火)

ごはん
麻婆豆腐
ナムル
みかん
牛乳



10/19
(木)

キムタクごはん
チキンの照り焼き
白菜と人参のお浸し
奥多摩汁
牛乳



10/23
(月)

ピザパン
こんにゃくサラダ
かぼちゃのポタージュ
りんご
牛乳



10/24
(火)

チャーハン風ごはん
ジャンボ揚げぎょうざ
中華スープ
フルーツミックス
牛乳

二十歳を祝う会 御案内

今回、「二十歳を祝う会」の対象となる方は、平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた方です。現在町内にお住まいの方、または町内の小中学校を卒業された方には、ハガキで12月中旬にご案内します。どうぞお気軽にお越しください。

【日時】令和6年1月8日(祝) 午前10時より

【会場】奥多摩文化会館

【お問合せ】教育課社会教育係

☎(83) 2246

第62回加藤旗駅伝競走大会

今年も皆様の熱い応援をお願いします

12月10日(日) 10時30分

古里駅前交差点スタート



【昨年のスタートの様子】

区域外就学及び指定校変更について

各小・中学校ごとに通学区域を定め、児童生徒に就学すべき学校を指定しておりますが、指定校以外への就学を希望する場合は教育委員会に必要書類を添えて申請してください。

区域外就学

奥多摩町以外から奥多摩町立学校を希望する場合

指定校変更(小学校のみ)

教育委員会が指定した学校以外に就学を希望する場合

申請ができるのは主に次の理由です。

- 転居予定
○身体的・家庭的理由
○その他特別な理由により教育的配慮が必要と思われる場合等

手続き方法

事由別にそれぞれ必要な書類があります。

申請書等、詳細については、QRコードよりご覧ください。

Three QR codes for: 区域外就学, 指定校変更, 就学援助費

就学援助費 新入学児童生徒用品費の入学前支給について

経済的な理由によって、お子様の就学費の支出が困難なご家庭に対して学用品費、学校給食費など学校でかかる費用の一部を援助しています。「準要保護」認定を受けた場合に就学援助費のうち、入学に必要な「新入学児童生徒用品費」について、入学前の3月に支給を実施します。支援を希望される方は、左記の要件を確認のうえ必要書類を添えて申請してください。

次のすべての要件に該当する方

- 令和6年2月1日に、町に住民登録がある方
○令和6年4月に、公立小・中学校の入学予定の方
○準要保護世帯である方(認定を受けた世帯)

【申請期間】

令和5年12月11日(月) から 令和6年1月15日(月) まで

【問合せ先】

教育課学務係(83) 2246



図書館より

新しい本のご紹介

一般書

あなたが誰かを殺した

東野 圭吾 著 講談社

こんな感じで書いてます

群 ようこ 著 新潮社

ロング・ロード

堂場 駿一 著 早川書房

ヒロイン

桜木 紫乃 著 毎日新聞

汁とめし

和食屋が教える、旨すぎる一汁一飯

笠原 将弘 著 主婦の友社

からだの中から整うおかゆレシピ

堤 人美 著 インプレス

児童書

ねずみちゃんのチョコッキ

上野 紀子 絵 ポプラ社

いもほりセブン

ふくだいわお 絵

世界文化社

教育委員に大串千代氏就任



教育委員
大串 千代 氏

教育委員の榎戸詠子氏が9月30日付で辞職され、その後任に大串千代氏（大丹波）が9月の定例町議会において議会の同意を得て、10月1日付で就任されました。大串氏は保護者としての選任となります。

教育委員に武本正明氏再任

武本正明氏は、9月30日で任期満了になることから、9月の定例町議会において議会の同意を得て、10月1日付で再任されました。

なお、任期は令和9年9月30日までの4年間となります。

教育委員会の動き

(令和5年5月～10月)

- ◎5月定例会（5月22日）
 - ・議案第12号―指定校変更申請の承認について他2議案
- ◎6月定例会（6月26日）
 - ・教育長報告・教育課長報告他
- ◎7月定例会（7月24日）
 - ・議案第15号―令和6年度使用小学校教科用図書採択について他2議案
- ◎8月定例会（8月30日）
 - ・議案第18号―専決処分承認を求めることについて（令和5年度児童・生徒の教育課程について）他3議案
- ◎9月定例会（9月26日）
 - ・議案第22号―奥多摩町教育委員会教育長職務代理者の指名について他1議案
- ◎10月定例会（10月30日）
 - ・議案第23号―奥多摩町社会教育委員の委嘱の承認について他1議案



❖教育相談室より❖

せせらぎ学級

相談員 星野靖

奥多摩町では、令和2年度より奥多摩町教育支援センター「せせらぎ学級」を開設しています。この「せせらぎ学級」は、様々な理由で不登校や不登校傾向にある子供に対して、学校生活への復帰のみならず、社会的に自立することも視野に入れて学習指導等の支援を行う機関です。

文部科学省の2022年度「問題行動・不登校調査」の結果が今月初めに公表されました。それによりまずと不登校の状態にある

小学生が、前年度から率にして22%増え、およそ30万人となりました。10年連続で増加し、過去最多となっています。中学校においては、20人に1人が不登校または不登校傾向にあるということになります。少子化が社会の大きな課題となつているにもかかわらず、不登校傾向の小中学生の数は逆に増え続けています。今日、不登

校は決して珍しいケースではなく、何かきっかけがあれば誰にでも起こりうるものなのです。今現在、出口の見えないトンネルの中をさまよっているように感じている子供や保護者の方もいるかもしれません。しかし、40年間公教育に携わってきて確実に言えることは、「学校がすべてではない。」ということなのです。これまで学校教育になじめない多くの生徒と関わる機会がありました。彼らの多くは不登校であった自分自身を受け入れ、それも一つの経験として自分にあつた学び方を見付け、人生の歩みを進めています。

現代社会において、学びの場や方法は多種多様です。この「せせらぎ学級」がそうした多様な学びの場の一つとして、子供たちの成長に少しでもつながる場であるように、様々な状況にある子供たちに寄り添いながら支援をしていきたいと思つています。

【E・FAX】(83) 2340
【メール】okusoudan@town.okutama.tokyo.jp

奥多摩水源郷土芸能 フェスティバル開催

奥多摩水源郷土芸能フェスティバルが9月10日午後、奥多摩水と緑のふれあい館において開催されました。

水源地の郷土芸能である、都指定無形民俗文化財の「川野獅子舞」、「原獅子舞」、また国指定重要無形民俗文化財、ユネスコ無形文化遺産である「小河内の鹿島踊」を披露し、奥多摩町の民俗芸能について理解を深めました。町内はもちろん町外からも大勢の方々にお越しいただき、奥多摩水と緑のふれあい館のふれあい広場が賑やかなお祭り会場となりました。



川野獅子舞「まりがかり」



原獅子舞「白刃」しらは

また、この日の午前には4年ぶりに小河内神社秋季例大祭も開催されました。

ここで、獅子舞と鹿島踊について説明します。

まず、獅子舞は奥多摩町で最も多く残されているお祭りです。腰に太鼓、頭に獅子頭をつけた雌獅子一匹、雄獅子2匹の3匹が、笛やささらの音に合わせて演じます。その獅子を囲んで花笠、笛方、唄方、囃子方、万灯持ち、太刀使い、棒使い、道化、大太鼓、小太鼓などで構成されています。地域によって構成や演目は変わります。次に鹿島踊についてですが、

鹿島踊の名前の由来は三番叟という曲目の「鹿島大明神様は：鹿島踊をいざ踊る」という歌詞からと言われています。曲目は11曲、踊り子は4〜6人、笛2人、太鼓2人で構成されています。奥多摩町には、20の地域にお祭りが伝わっています。「獅子舞」14か所、「お神楽」2か所、「お囃子」2か所、「車人形」1か所、「鹿島踊」1か所です。地域の人々の努力によって守られ、たくさんのお祭りが受け継がれています。



鹿島踊「毬踊」まりおどり

川野車人形子供教室の紹介

川野車人形子供教室は、旧小河内小学校の閉校に伴い、地域の方々、保存会、当時統合先の氷川小学校の協力を経て、地域に根ざした教育の一環、また保存活動の一助として立ち上げられました。子供教室を卒業した若者6名も車人形の技術を継承しています。川野車人形は今年3月国重要無形民俗文化財に指定されました。そこで、新たに現在体験教室を開催しています。

毎年3月第一土曜日に川野生活館にて例祭が行われています。また、令和6年3月10日奥多摩水と緑のふれあい館にて川野車人形公演が開催されます。興味のある方はぜひお越しください。



体験教室の様子



上のQRコードを読み取れば、「小河内神社秋季例大祭」の様子を一部動画でご覧いただけます。